

# 外科学系小児外科学分野



外科学系 小児外科学分野 since 1948

歴史と伝統の医局に、多くの若手医局員が加わるのは理由がある。



第 59 回日本小児外科学会学術集会主催



第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会

**【診療の特徴】****豊富な症例と多彩な手術経験**

小児外科診療科の令和4年一年間の手術件数は294件であり、対象臓器が頸部から胸部、腹部、四肢と多岐に渡るため、様々な疾患とその手術を経験することができます。また、当院は東京都こども救命センターに指定されており、救命センターの医師とともに救急医療にも対応しています。

**小児固形腫瘍に対する集学的治療**

日本大学医学部附属板橋病院は東京都小児がん診療病院に認定されています。特に小児固形腫瘍において、小児腫瘍チーム（小児外科、小児科、整形外科、放射線科、病理科で構成）によるTumor board（腫瘍検討会）を定期開催しています。このTumor boardで診断および治療方針を検討、それを受けて外科手術、化学療法、放射線治療などを組み合わせた高度な集学的治療を行い、進行神経芽腫症例などにおいて良好な成績を収めています。

**数多くの胎児・新生児外科症例**

当院は東京都総合周産期母子医療センターと同時にスーパー（母体救命対応）総合周産期母子医療センターにも認定されています。令和元年の新生児手術数は23例でした。また産科、新生児科との協力が密で、周産期カンファレンスを定期的で開催しています。母体を含め、診断から治療の各過程においてより高度な症例に対応しています。

**【教育の特徴】****外科および小児外科専門医取得**

初期臨床研修を終了すると日本大学外科専門研修プログラムに参加して頂きます。3年間のプログラム期間中に基幹施設（日本大学医学部附属板橋病院）で6ヵ月以上、かつ連携施設（2023年現在で関東圏中心に24施設）で6ヵ月以上の研修が必須となります。当教室では効率よく、また確実に研修が受けられるように最大限配慮し、他診療科および関連病院と連携を組んでプログラムを作成しています。また外科専門医取得後に小児外科専門研修を開始します（大学院進学コースもあり）。小児外科研修施設は関東圏を中心に8施設あり、各個人の目標や修練状況および出向施設の特色をよく吟味した上で、それぞれにとって最良のコースを選択出来るように配慮しています。

**学位取得**

学位取得希望者には大学院進学を積極的に勧奨しています。現役医局員51名中27名が大学院博士課程を修了しており、11名が大学院在学中です（2022年4月時点）。研究を通じることで、幅広い視野で物事を考えることができ、かつ細部に至る所まで詳細に原因究明を行うことが出来る人材育成を目指しています。

**桜門小児外科研究会**

希少な小児外科症例の経験を共有するため、連携病院や関連病院へ出向中のメンバーも集まり、年2回研究会を開催しています。小児外科の先輩方とも和やかな雰囲気の中で研鑽を積むことができます。

**【研究の特徴】****最先端の研究環境**

日本大学先端医学総合研究センターではユニークかつ質の高い基礎的研究がなされており、当教室では悪性固形腫瘍における腫瘍関連遺伝子の研究や腸管や筋の再生や脱分化脂肪細胞（DFAT）を利用した再生医療研究など、小児外科に関連する分野で共同研究を行っています。

**臨床に根差した研究**

一般臨床でよく見られるいわゆるcommon diseaseについても、より深い理解と質の高い医療を模索するため、臨床研究のテーマとして積極的に取り組んでいます。今迄においても平成18年より単径ヘルニアの対側発生例についての前向き研究、および腹腔内膿瘍を併発した急性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術に関しての前向き研究を論文などへの誌上報告も行なっています。

連作先：日本大学医学部小児外科 医局長  
細川 崇  
e-mail：hosokawa.takashi@nihon-u.ac.jp





## 上原 秀一郎

主任教授・小児外科部長

平成 9 年日本大学卒  
 日本外科学会専門医・指導医  
 日本小児外科学会専門医・指導医  
 日本周産期・新生児医学会認定外科医  
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
 日本小児血液・がん学会認定外科医  
 日本臨床栄養代謝学会認定医・指導医



## 細川 崇

医局長・外来医長

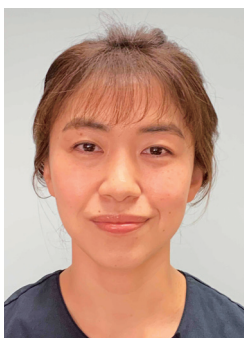
平成 18 年日本大学卒  
 日本外科学会専門医  
 日本小児外科学会専門医  
 日本周産期・新生児医学会認定外科医



## 後藤 俊平

病棟医長・病棟主任

平成 19 年昭和大学卒  
 日本外科学会専門医  
 日本小児外科学会専門医  
 日本周産期・新生児医学会認定外科医



## 星 玲奈

病棟副主任・教育医長

平成 21 年日本大学卒  
 日本外科学会専門医  
 日本小児外科学会専門医  
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
 日本小児血液・がん学会認定外科医



## 平野 隆幸

平成 22 年日本大学卒  
 日本外科学会専門医  
 日本小児外科学会専門医  
 日本周産期・新生児医学会認定外科医  
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医



## 小野 賀功

救急担当医長

平成 23 年日本大学卒  
 日本外科学会専門医  
 日本小児外科学会専門医  
 日本周産期・新生児医学会認定外科医

## 日本大学医学部小児外科。日常風景

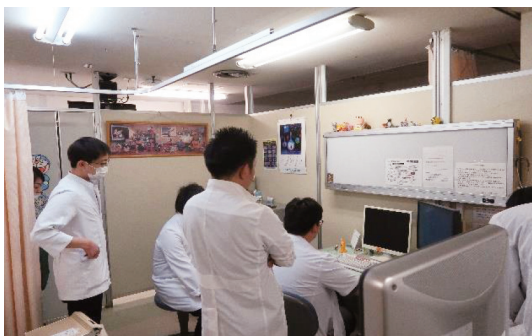


NICU における手術風景

超低出生体重児など手術室に移送できない患児は NICU でも手術を行います。



手術風景



NICU カンファレンス

週 1 回木曜日の午後に NICU の医師達と術後の状態やこれから出生する児のカンファレンスを行います。



リサーチカンファレンス

大学病院の責務でもある研究にもぬかりなく、週 1 度のカンファレンスで大学院生を含め全員で担当し今後の研究などについて相談しています。



学会発表（第 34 回日本小児外科学会秋季シンポジウムにて）

論文もしっかりですが学会発表は社会に貢献する場であり、大学病院としての責務と考えています。研究や日常のクリニカルクエッションからの新規発見など日々社会に発信しています。



新入医局員歓迎会

アフター 5 について強制はありません。定期的な関連病院への出向中の医師なども会を開き現状などをフランクに相談しあっています。

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/ped-surg/toppage.html>